

ゲートボール大会 三之町チーム優勝

7月27日(金)、JA越後おぢやは、四ツ子の吉谷トレーニングセンターのグラウンドで、JA越後おぢや組合長杯争奪ゲートボール大会を開きました。組合員や地域住民の健康増進と参加者同士の交流を深めることが目的。同JA年金友の会などが後援しました。

市内12チーム77人が参加。白と赤のボールに視線が集まり、好プレーには歓声が上がっていました。

競技の結果、片貝中央支店管内の三之町チームが初優勝に輝きました。

開会に当たり谷口熊一組合長は、「日頃の練習の成果を発揮し、優勝を目指して頑張っ

てほしい」と激励しました。優勝した「三之町チーム」は、8月22日に新潟県大会で開かれた第34回ふれあいJAゲートボール新潟県大会に当JA代表として出場しました。

優勝以外の上位入賞は、準優勝が「片貝クラブチーム」(片貝中央支店管内)、3位は「四之町チーム」(片貝中央支店管内)。



▲初優勝を喜ぶ三之町チームのみなさん

バレーボール熱戦 片貝中央支店

8月5日(日)、片貝中央支店は、支店協同活動の一環で、「第19回JAふれあいソフトバレーボール大会」を小千谷市立片貝中学校の体育館で開きました。

このイベントは、組合員や地域住民の健康づくりを目的に毎年開いています。

大会には、片貝中央支店管内から、農区別に男子の部11チームと女子の部7チームの総勢300人の組合員や地域住民が参加しました。トーナメント方式で

全24試合を行いました。競技の結果、男子の部は、清水町男子チームが初優勝、女子の部は、二之町・茶畑チームが3度目の優勝に輝きました。

開会に当たり谷口熊一組合長は、「水分をこまめに補給して健康管理に注意し、優勝を目指して頑張っほしい」とあいさつ。参加した選手は、地域の人たちの大声援を受け、ファイトあふれるプレーを展開しました。



▲初優勝の清水町男子チーム



▲3度目の優勝に輝いた二之町・茶畑チーム

支部活動を広めよう 児童と一緒にアクセサリー作り



▲児童を招き初開催のペーパービーズ教室

8月7日(火)、JA女性部四ツ子支部は、四ツ子の吉谷トレーニングセンターで、ペーパービーズアクセサリー教室を開きました。地域の小学生と保護者、組合員ら21人が参加しました。

同支部の活動を地域に知ってもらうことや、親子の絆を育み、参加者の交流を深めてもらうことが目的で、初めての取り組みです。児童らは、部員から作り方を教わると、母親と一緒に、包装紙などを細長く切り、二スを塗って「ペーパービーズ」を作り、思い思いの組み合わせで、オリジナルのブレスレットやネックレスなどを完成させました。

女性部の大形厚子さんは「地域の人に女性部の活動を知ってもらおう良い機会となった。これからも活動の場を広げて、仲間づくりに取り組んでいきたい」と話しました。参加した児童は「家に帰って帰ってお婆ちゃんにプレゼントしたい」と、完成したネックレスを手に笑顔を見せました。

養液土耕栽培トマト 本格的な出荷始まる



▲目合わせ会で品質を確認する生産者

JA越後おぢやの組合員でつくる「小千谷養液土耕栽培組合」で、トマトが本格的な出荷シーズンを迎えています。

JA千谷野菜集出荷場には、ピーク時には日量約300キが出荷されます。総出荷量は約10トを見込んでいます。10月下旬まで。

同栽培組合の和田弘組合長は「猛暑の影響が心配されたが、品質は良好だ」と話します。

同組合では、生産者3人と2組織が、ハウス6棟(約

36ア)で栽培に取り組んでいます。品種は「フルティカ」と、今年産から始めたミニトマト「アンジェ」の2品種です。

8月9日には、本格的な出荷の始まりにあわせて、目合わせ会を開きました。生産者や市場担当者ら16人が参加し、出荷規格などを確認・共有しました。

市場の担当者は「軟化玉に気を付けて高品質なトマトを出荷してほしい」と要望していました。

健康情報ひろば



これからの季節に ウイルスについて

厚生連小千谷総合病院

検査科 樋口正幸

「ウイルス」と一口に言っても、風邪の原因になるものや、食中毒の原因になるものなど様々なものがあります。今回は、これからの時期に流行する呼吸器に感染症を引き起こすRSV、hMPV、インフルエンザウイルスをご紹介します。風邪の原因となるウイルスとして、「RSウイルス(RSV)」や、「ヒトメタニューモウイルス(hMPV)」などがあります。RSVは、秋から冬にかけて流行します。1歳未満に好発し、3歳から4歳までにはほぼすべての小児が経験する病気といわれています。

hMPVは1年を通して見られますが、春に多い傾向にあります。1歳から3歳の間に好発し、5歳から10歳までにほぼすべての人が感染するといわれています。どちらのウイルスも子供だけ

でなく大人にも感染し、軽い風邪程度で済む場合から、気管支炎や肺炎に至るまで様々な症状を呈します。薬やワクチンはなく、治療は、主に対処療法となります。

また、冬場の代表的なウイルスとしてインフルエンザウイルスがあります。昨年度に、ご自身や周りの方が感染した方も多いかと思います。このウイルスは冬に流行し、1月から2月に流行のピークを迎えます。

これらのウイルスは病院で検査する事が出来ます。綿棒で鼻の奥の方からウイルスを含む粘液を採取し、採取した綿棒を専用のキットで検査を行う、という簡単なものになります。しかし採取した綿棒に十分なウイルス量がないと陽性とならないため、インフルエンザなどでは、発熱後ある程度の時間が経過しないと正しい結果がでないということがあります。

「これからの季節に気を付けたいウイルス」と題しましたが、これからの季節だけでなく、免疫を低下させないように常日頃から規則正しい生活や、ウイルスに感染しないように手洗い、うがいなど、標準予防を心掛けていただければと思います。

園芸導入の足掛かりに実証用圃場を見学してみませんか？

品目	圃場/生産者	品目	圃場/生産者
カリフラワー	山谷/中野拓朗さん	養液土耕トマト	両新田/グリーンスマイル
ニンジン	小栗田/国松俊輔さん	ホウレンソウ	小栗田/須田翼さん
サトイモ	川井/秋山和雄さん	花弁	三仏生/細貝信良さん

※養液土耕トマトの実証用圃場は、両新田のJA育苗ハウスです。

※見学は随時受付けておりますが、生産者の都合上、事前に申込みが必要です。



園芸圃場見学会開催のお知らせ

日時 10月4日(木) 午後1時30分～午後3時30分

※営農経済センターを出発し各圃場を巡回いたします。参加には事前の申込みが必要です。

申込み・お問合せ/営農生産部園芸特産課 ☎83-3427